



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月18日（火）



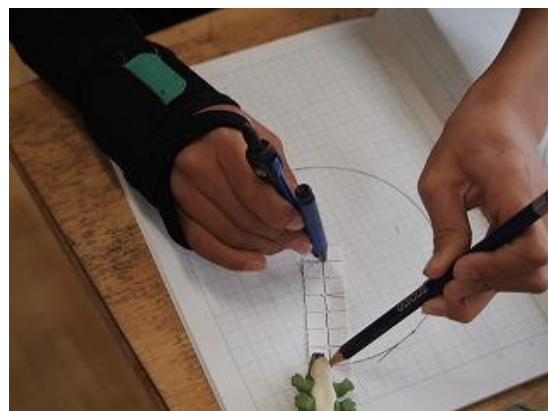
今秋は本当に雨が多いですね。今日は、おひさま学級の校外学習（遠足）が予定されていましたが、やむなく延期とさせていただきます。早く天候が安定して、抜けるような秋晴れのもと校外学習を実施したいです。

ALT の先生が都合により1週間ほどお休みします。今日は、ALT 派遣会社からピンチヒッターの先生に来てもらい、授業を行いました。画像は、4年生の授業の様子です。ALT の先生が変わっても、子供たちは楽しく学習に取り組んでいてほっとしました。教室には、子供たちのはつらつとした声が響いていました。

しばらくは、数人の ALT が交代で授業を行います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



3年生の算数は、円の学習に入りました。円は、丸い形の一つとして日常生活の中に多く見られる形です。子供たちは、日常語として「まる」という言葉を使い、算数の学習でも「まるいかたち」を学習してきましたが、定義に基づく円の学習はこれが初めてです。本時は、一定の間隔に穴が開いている紙定規を使って円を作図し、なぜきれいな丸い形になるのかを考えます。様々な大きさの円を作図することを通して、円とは「1つの点から長さが同じになるようにかいてできたまるい形」であることを見つけ出します。同時に、長丸（楕円）や、線が切れてる丸は、円とは言えないことも確認します。



6年生の教室に入るとみんな毛筆を持っていたので、書写の授業かと思ったら違いました。社会の授業で、墨絵を描いていたのでした。墨絵は、中国から伝わりましたが、日本では室町時代に禅宗文化の美術として発展しました。周文や雪舟といった画僧を輩出した時代です。墨絵といえば花鳥風月をモチーフにした山水画が有名です。墨の濃淡だけで表現される作品は、子供の目には、「墨だけだから簡単なんじゃない？」と映るようですが、やってみるとその難しさがわかります。

本時は、自分で墨絵を描いてみて、難しさや面白さを体験するとともに、室町文化の奥深さに気づくことがねらいです。タブレットの参考画像を見ながら真似している子もいれば、自分のイメージだけで筆を走らせる子もいます。私が見に行くと、「絵が下手なんで見ないでください～」と恥ずかしがる子もいれば、「校長先生、見てください。芸術的ですよ。」と自信たっぷりの子もいて、子供たちの反応が面白かったです。

